

議員提出議案第4号

米国のイラク攻撃に反対し、平和的解決を求める意見書

このことについて、下記のとおり、内閣総理大臣、外務大臣、防衛庁長官、衆議院議長、参議院議長に意見書を提出する。

平成15年3月24日

提出者	三朝町議会議員	香川和久
賛成者	三朝町議会議員	小椋昭一
賛成者	三朝町議会議員	藤井享
賛成者	三朝町議会議員	益田克巳
賛成者	三朝町議会議員	松村修
賛成者	三朝町議会議員	福田茂樹

平成15年3月24日原案可決

三朝町議会議長 藤井 享

米国のイラク攻撃に反対し、平和的解決を求める意見書

米国は、イラクによる大量破壊兵器の開発・貯蔵疑惑等を理由に、イラクに対し武力攻撃を開始した。

この米国の行っているイラクへの武力攻撃は、武力行使禁止の原則と民族自決権を確立した国際法に違反し、先制攻撃は国連憲章でも認められていないものである。

多くの日本国民は、イラク攻撃により、日本の安全と平和、国民生活が脅かされることを懸念している。日本政府は今こそ平和憲法を生かして戦争の回避に全力を尽くすべきである。国是となす非核三原則の法制化とこれまで培ってきた近隣諸国との友好と協調、信頼の醸成を柱にした外交努力で「紛争」と「有事」の火種をなくしていくことを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成15年3月24日

鳥取県三朝町議会